操作説明書 EWA-010(R)B / EWA-020(R)B UNI-PEX

非常放送のしかた
(1)感知器起動

(階別信号入力)
感知器から
信号がくる。
(第1報)

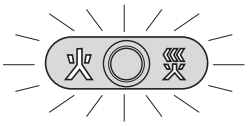
発報連動停止 表示灯を消灯させる

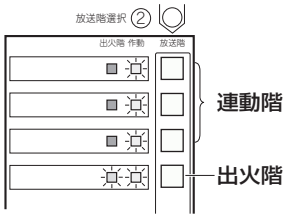
点灯している場合、本体マイクドア内の”発報連動停止スイッチ”で「消灯」に切り換えてください。(出荷時:消灯)

1 出火階、連動階に発報放送が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン(第1シグナル音)
「ただいま○階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)





- 火災灯点滅(赤色)
- 出火階表示灯点灯(赤色)
- 階別の作動表示灯点灯(緑色)

2 操作を選択する

- **火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ
- **非火災**➡非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に火災放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ(2～5分)

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン　(第1シグナル音)
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー　(第2シグナル音)

- 第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4**へ
- 第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
- 本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

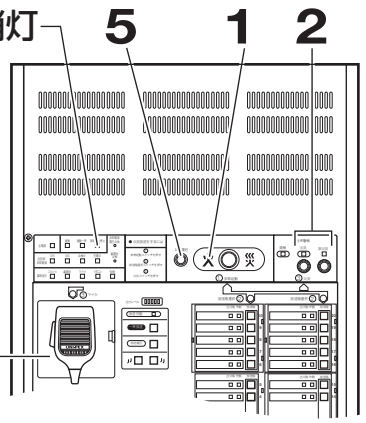
4 「一斉火災放送」が放送される

- 全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- 放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

※ **発報連動停止** 消灯



Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する(本体マイク放送優先)

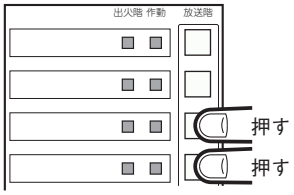
- 作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
- 連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- 火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

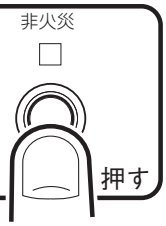


第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン ピンポン ピンポン(第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた
(2)感知器起動

（階別信号入力）
感知器から信号がくる。
（第1報）

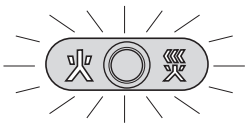
発報連動停止 表示灯を点灯させる

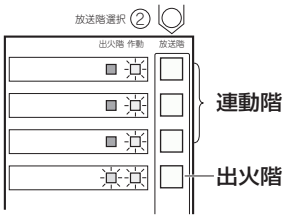
消灯している場合、本体マイクドア内の”発報連動停止スイッチ”で「点灯」に切り換えてください。（出荷時：消灯）

1 火災音信号が鳴る

ピー、ピー、ピー

（発報放送は放送されません。）





- ●火災灯点滅（赤色）
- ●出火階表示灯点灯（赤色）
- ●階別の作動表示灯点灯（緑色）

2 操作を選択する

- ●**火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ
- ●**非火災**➡非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に火災放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ(2～5分)

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン （第1シグナル音）
「火事です！火事です！○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー （第2シグナル音）

- ●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4**へ
- ●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
- ●本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

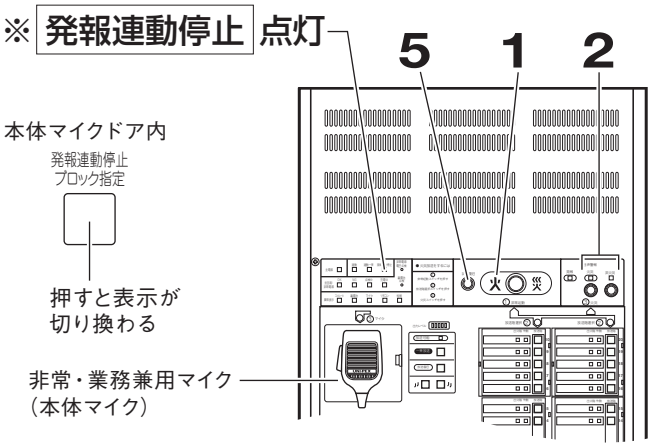
4 「一斉火災放送」が放送される

- ●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- ●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
（感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。）

※ **発報連動停止** 点灯



Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する（本体マイク放送優先）

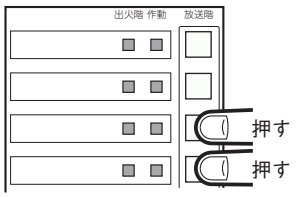
- ●作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
- ●連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- ●火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

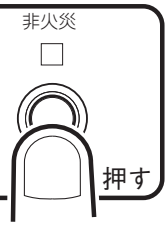


第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す。

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

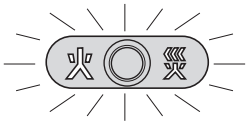
(3)発信機・非常電話起動(発報)

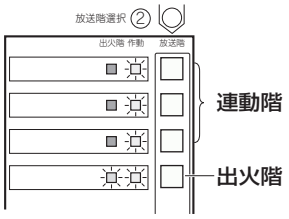
(階別信号+火災確認信号の同時入力)
発信機・非常電話から信号がくる。
(第1報)

1 出火階、連動階に発報放送が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「ただいま○階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

(連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。)





- ●火災灯点滅(赤色)
- ●出火階表示灯点灯(赤色)
- ●階別の作動表示灯点灯(緑色)

2 操作を選択する

- ●**火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**3**へ
- ●**非火災**➡非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に火災放送されます。
・第2感知器作動(階別信号)
・発報放送終了(メッセージ2回)

3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「火事です!火事です!○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

- ●第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4**へ
- ●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
- ●本体マイクのスイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される

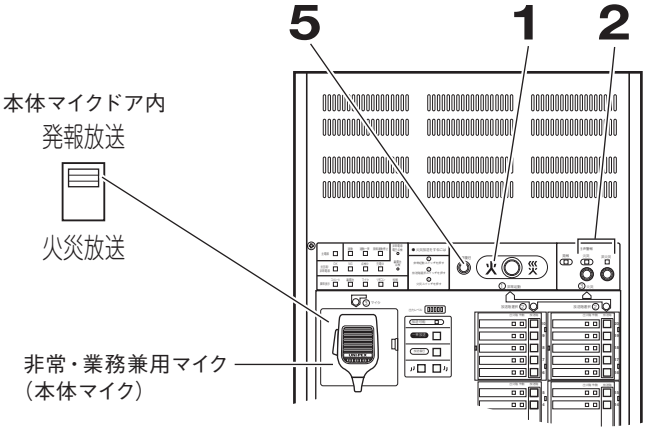
- ●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
- ●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

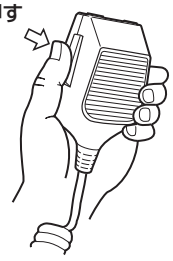
「発報放送」設定にする

本体マイクドア内の"発報放送/火災放送切換スイッチ"を「発報放送」側にしてください。(出荷時:発報放送)



Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する(本体マイク放送優先)

スイッチを押す



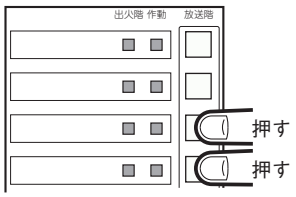
- ●作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
- ●連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
- ●火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

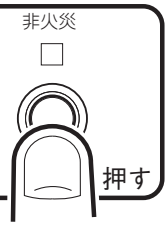
②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。



第2タイマーの設定時間(0分/2~5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す



ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」

◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

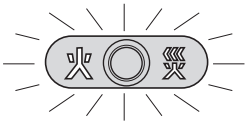
(4)自火報（発信機・非常電話起動（火災））

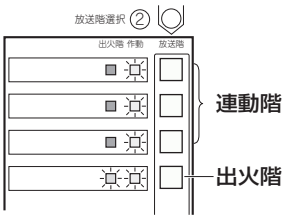
（階別信号＋火災確認信号の同時入力）
発信機・非常電話から信号がくる。
（第1報）

1 出火階、連動階に火災放送が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）
「火事です！火事です！○階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー（第2シグナル音）

（連動一斉表示灯点灯時は全館一斉に放送されます。）
●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**2**へ
●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
●本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。





●火災灯点灯（赤色）
●出火階表示灯点灯（赤色）
●階別の作動表示灯点灯（緑色）

2 「一斉火災放送」が放送される

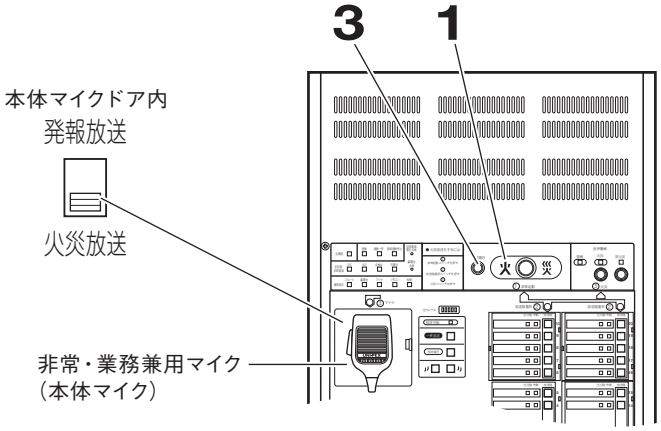
●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。
●本体マイクで放送する場合はⒶへ
●「非火災」放送を放送する場合はⒷへ

3 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
（感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。）

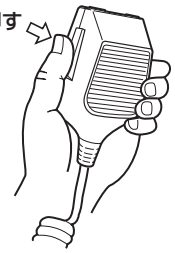
「火災放送」設定にする

本体マイクドア内の”発報放送／火災放送切換スイッチ”を「火災放送」側にしてください。（出荷時：発報放送）



Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する（本体マイク放送優先）

スイッチを押す

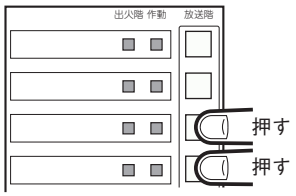


●作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。



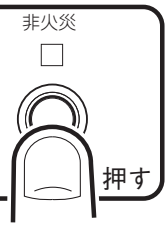
放送階選択指示灯が点滅。

第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた

(5)手動（発報）

手動起動には、手動連動と個別手動の2種類があります。（出荷時は手動連動）
詳しくは工事説明書（本編）24ページをご覧ください。

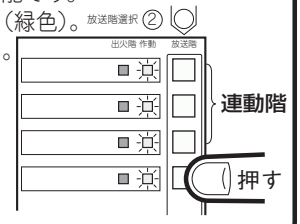
1 非常起動スイッチを押す。

●放送階選択指示灯が点滅

2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

押した場所が出火階となり、発報放送が放送されます。
一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。

●放送階・連動階の作動表示灯が点灯（緑色）。
●放送階選択指示灯が点灯（オレンジ色）。



ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）
「ただいま火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください。」

3 操作を選択する

●**火災** ➡火災放送または非常起動スイッチを押す。**4**へ

●**非火災**➡非火災放送スイッチを押す。Ⓑへ

以下の場合には自動的に火災放送されます。
・発信機起動　・第2感知器作動
・非常電話作動　・第1タイマータイムアップ(2～5分)

4 「火災放送」が放送される

ピンポン　ピンポン　ピンポン　（第1シグナル音）
「火事です！火事です！ 火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」ビュービュービュー　（第2シグナル音）

●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**5**へ
●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
●本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

5 「一斉火災放送」が放送される

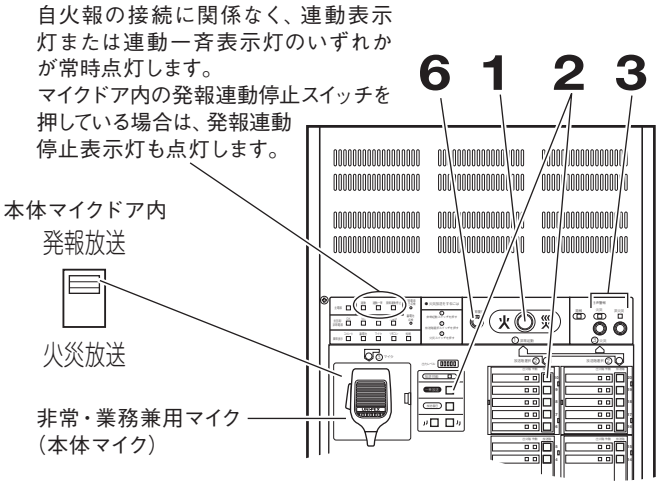
●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

6 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
（感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。）

「発報放送」設定にする

本体マイクドア内の”発報放送／火災放送切換スイッチ”を「発報放送」側にしてください。（出荷時：発報放送）



Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する（本体マイク放送優先）

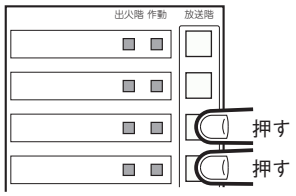
●作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

放送階選択指示灯が点滅。

②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。

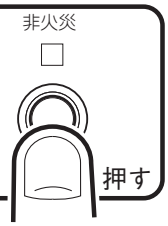


第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

ピンポン ピンポン ピンポン（第1シグナル音）
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。

非常放送のしかた
(6)手動 (火災)

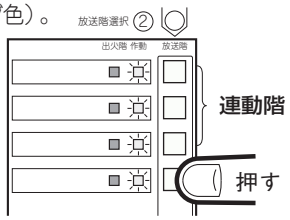
手動起動には、手動連動と個別手動の
2種類があります。(出荷時は手動連動)
詳しくは工事説明書 (本編) 24ページをご覧ください。

1 非常起動スイッチを押す

●放送階選択指示灯が点滅

2 放送したい階の放送階選択スイッチを押す。

一斉放送スイッチで一斉放送も可能です。
●放送階・連動階の作動表示灯が点灯 (緑色)。
●放送階選択指示灯が点灯 (オレンジ色)。



3 「火災放送」が放送される

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「火事です！火事です！火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」
ビュー ビュー ビュー (第2シグナル音)

●第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)が経過すると一斉火災放送に移行します。→**4**へ
●第2タイマーの設定がOFFのとき一斉火災放送へ移行しません。
●本体マイクのスイッチ、非常復旧スイッチ、放送復旧スイッチ、非火災放送スイッチを押して「火災放送」を止めることができます。

4 「一斉火災放送」が放送される

●全館一斉に「火災放送」が放送されます。
●放送復旧スイッチで放送を中断することはできません。

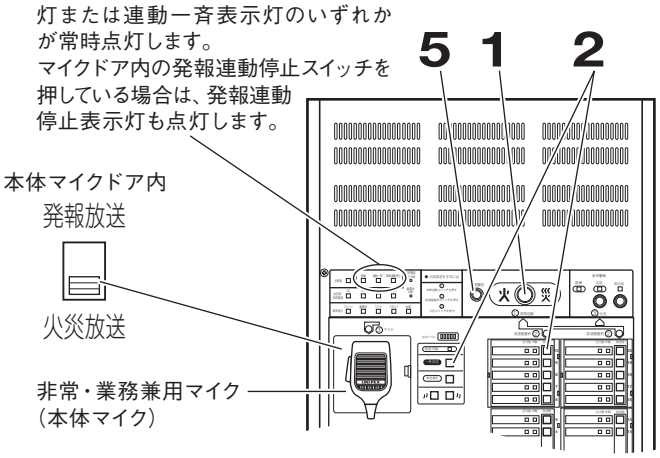
5 非常復旧スイッチを押す

非常放送が終了します。
(感知器が作動している間は、非常復旧スイッチを押しても非常放送は復旧しません。)

「火災放送」設定にする

本体マイクドア内の”発報放送／火災放送切換スイッチ”を「火災放送」側にしてください。(出荷時：発報放送)

自火報の接続に関係なく、連動表示灯または連動一斉表示灯のいずれかが常時点灯します。
マイクドア内の発報連動停止スイッチを押している場合は、発報連動停止表示灯も点灯します。



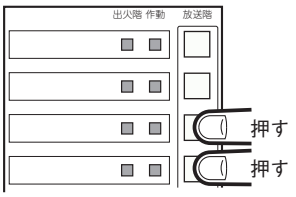
Ⓐ状況に応じて、本体マイクで放送する (本体マイク放送優先)

●作動表示灯が点灯している階に本体マイク放送が流れます。
●連動一斉表示灯点灯時は、本体マイクは全館一斉放送となります。
●火災放送時、本体マイクで放送した後、本体マイクスイッチを切ると第2シグナル音が鳴ります。

・放送階を選択し直すとき

①放送復旧スイッチを押す。

②必要な階を選択し、再び本体マイクで放送する。



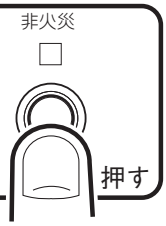
放送階選択指示灯が点滅。

第2タイマーの設定時間(0分／2～5分)を経過した後は放送復旧スイッチで復旧することはできません。

Ⓑ「非火災放送」を放送するには

非火災放送スイッチを押す

ピンポン ピンポン ピンポン (第1シグナル音)
「先ほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」



◆事前に設定について確認してください。非常時に備え、取扱説明書を読み、動作の詳細を把握してください。
◆必要なページを付属の透明ケースに入れ、本機の近くに置いてください。